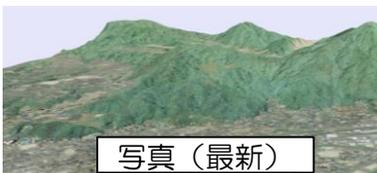
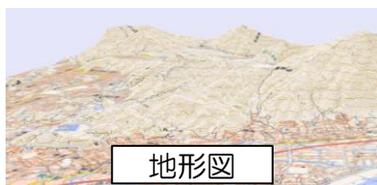


（1）3D表示できる情報が大幅に増えました！

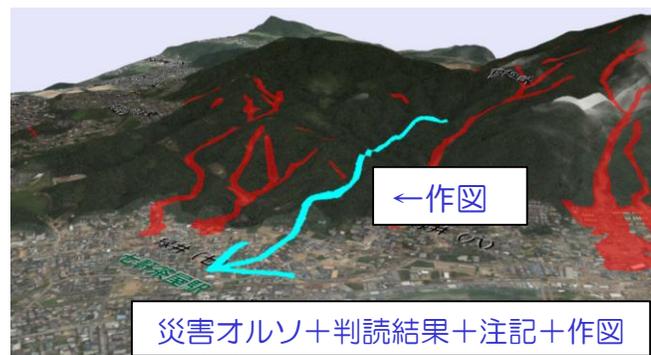
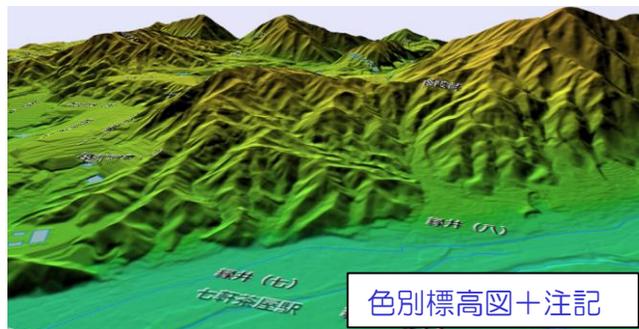


これまでの地形図、写真に加え、
様々な情報や作図内容も3D表示、ファイルのダウンロードができます。

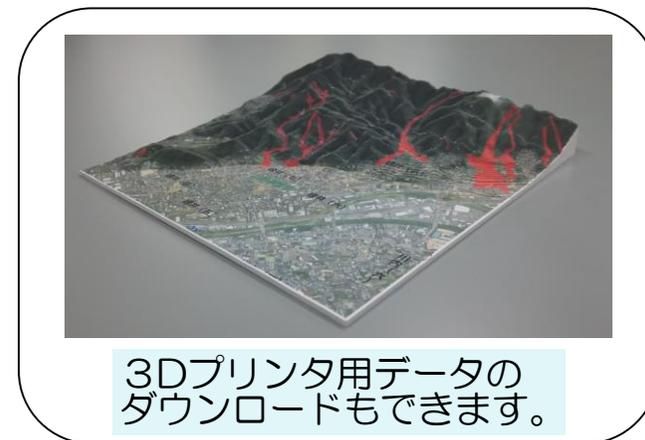
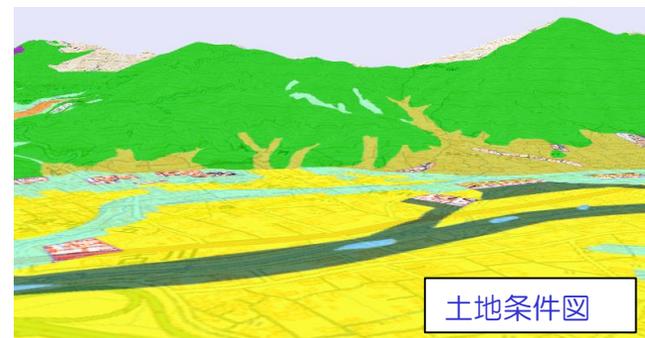
これまで
3D表示可能だったもの



その他のレイヤも
3D表示可能に



土地の状況や災害状況を直感的に把握することができます。教育にも役立ちます。



（2）情報を追加する仕組みをわかりやすくしました！



全ての情報を「+情報追加/ベースマップ切替」ボタンから選択・追加できます。

これまでの仕組み

① 「情報」をクリック
② 「表示できる情報」をクリック
③ 表示したい情報をクリック
④ ベースマップは左下のアイコンから選択

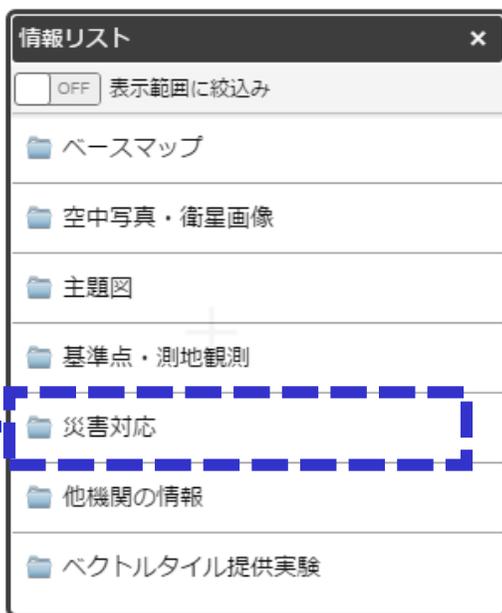
新しい仕組み

① 「情報」をクリック
② 「+情報追加/ベースマップ切替」をクリック
③ 表示したい情報をクリック。
（ベースマップもここから選択）
④ 「選択中の情報」から各種操作が可能
（表示/非表示、透過率、説明の表示等）

（3）情報の分類をわかりやすくしました！

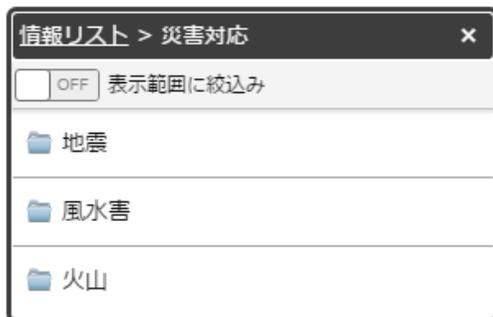


表示したい情報を見つけやすくなるよう、整理しました。



情報の一例：

- ベースマップ（標準地図、淡色地図、English、白地図、写真）
- 年代別の写真、衛星写真
- 色別標高図、各種土地条件図、都市圏活断層図
- 基準点、測地観測のデータ
- 災害対応のデータ
- 地盤情報（KuniJiban）、人口集中地区（総務省統計局）など
- ベクトルタイル提供実験（注記、道路中心線、基盤地図情報）



災害対応は
地震／風水害／火山
の災害種別ごとに分類